



輪



INFORMATION

■ 症例検討会のご案内

北九州市立医療センターでは、地域の医療従事者の方々と一緒に医療技術向上のため、下記のとおり症例検討会を実施しています。

症例検討会名・開催日	時間・場所
■ 乳腺テクニカルカンファレンス 毎月 第2・4月曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
乳腺外科・放射線科・病理診断科の医師、放射線技師、臨床検査技師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■ 呼吸器カンファレンス 毎週 火曜日開催	時間：17時～18時 場所：別館6階 講堂
呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■ 消化管カンファレンス 毎月 第3木曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
消化器内科・消化器外科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■ 周産期症例検討会 奇数月 第3水曜日開催	時間：19時～20時30分 場所：別館6階 講堂
産婦人科・小児科・小児外科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	

※日程は都合により変更・中止になる場合がございます。事前に医療連携室へご確認の上、ご参加いただければ幸いです。
検討ご希望の症例がございましたらぜひご参加下さい。皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

参加申し込みは不要です。(TEL：093-533-8660〈直通〉)

■ 地域医療従事者研修会のご案内

日程	テーマ	講師
5月24日(木)	乳がんの最新治療と看護	外科主任部長 阿南 敬生 乳がん看護認定看護師 安藤 育枝
6月28日(木)	長寿社会における口腔ケアの重要性	九州歯科大学歯学部口腔保健学科 地域・多職種連携教育ユニット 教授 藤井 航
7月26日(木)	がん患者の疼痛管理	PCTチーム 麻酔科部長 神代 正臣 がん性疼痛認定看護師 太郎良 純香

▶場 所：北九州市立医療センター 別館6階講堂
▶時 間：18時30分～(1時間～1時間30分程度)

【問合せ先】
北九州市立医療センター 医療連携室 TEL.093-533-8660(直通)

輪

北九州市立医療センターニュース「輪」
第69号 2018年4月27日発行



<基本理念>

わたしたちは公共的使命を自覚し
心のこもった最高最良の医療を提供します

編集長：尼田 党 / Photo：中山 俊輔

© 2018 北九州市立医療センター /
本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。

編集後記 最近、「利他」の精神という言葉をよく目にします。医療職としてのプロフェッショナリズムにも求められていますが、日本人特有の国民性ともいわれています。空海や最澄の教えの中で、他者が利を得て満足する姿のみを自らの喜びとしようということで、「自利」＝「他利」になると考える自己満足を戒める教えとのことです。おもてなしやボランティア精神に通じるものです。新人の皆さん、患者さんが満足して帰っていくことをうれしいと日々思うだけでできたと成長していきます。(尼田)

〒802-0077 北九州市小倉北区馬借2丁目1番1号
TEL.093-541-1831(代表) FAX.093-533-8693
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/hospital/center/>

広報委員会「輪」編集委員

尼田 寛 重松宏尚 坂井 寛 大津博恵 小野弘美 森崎恵美子
石井隆義 松本順子 高見将彦 佐藤美登里 天野健司 中山俊輔



HP：QRコード



FB：QRコード

CONTENTS

- 01 退任のご挨拶
- 02 副院長就任にあたって
統括部長就任にあたって
- 03 退任のごあいさつ
臨床検査技術課長就任にあたって
- 04 新主任部長就任にあたって
- 05 2018年 新任医師紹介
- 07 トピックス／2017年度活動報告
- 08 看護の広場／別館4階病棟
- 09 登録医のご紹介
- 10 医療連携室だより

INFORMATION

症例検討会・研修会のご案内



〔表紙写真について〕
すべての物事が新たに動き出すワクワクする4月を迎えました。
当院のピカピカの新人看護師諸君です。どうぞよろしくお願い
いたします。



退任のご挨拶

前 総括副院長
眞鍋 治彦

本年3月31日付で総括副院長を定年退職致しました眞鍋治彦です。
1980年に熊本大学を卒業し福岡大学麻酔科学講座に入局、その後
1993年に麻酔科主任部長として当医療センターに着任しました。以来
25年間、手術麻酔を中心に、疼痛・緩和医療、救急・災害医療、研
修医教育、医療安全、病院機能評価などに携わってまいりました。地域
にお住まいの方に良質な医療を捧げるにあたり、変えていくべきもの、変
えてはいけないものをしっかりと見極めることができたか、われわれ職員が
物心両面において満足感と幸福感を持って仕事に従事できたか、気
に掛かるところですが、まずは定年を迎え一言「ご機嫌よう」。

医療は、これまでも変わってきており、これから変わっていくでしょう。
変えていくべきもの、変えてはいけないものをしっかりと見極め、これからも
地域の方々に安心を与えられる病院であってほしいと願っています。



退職者を送る集いにて



副院長就任にあたって

三木 幸一郎 | Koichiro Miki



本年4月より副院長を拝命いたしました三木幸一郎と申します。これまで9年間肝
臓内科の診療に携わってまいりましたが、昨年から統括部長として病院全体の運営
に関わることになり、今年から副院長となり、さらに責任を感じております。当院は
これまでも地域医療の要として、また、がんの診療に携わる拠点病院として努力し
てまいりました。これもひとえに地域の先生方、患者さんの方々によって支えられて
きたと感謝しております。現在ではどの医療機関もその実績を公表する時代になっ
ています。その中で、当院も自らの診療の内容・特色を皆さまに目にいただき、
ご指導をいただかなければなりません。当院が行っている診療の把握およびこれか
ら行っていくべき診療の検討には、診療情報の質の管理と分析が欠かせません。こ
の分野を通して、さらに質のそろうた診療を目指し、引き続き地域の皆さまの信頼
とご期待に応えるべく努力していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し
上げます。

Greetings



統括部長就任にあたって

西原 一善 | Kazuyoshi Nishihara

本年4月より統括部長を拝命いたしました外科の西原一善です。
1994年当院に赴任して以来24年間外科診療に携わっています。外科では
①患者さんの安全、②がんの根治、③美容・機能性を重視した内視鏡手術、
④患者さんの心のケア、を主なテーマとして臨床に従事してまいりました。
特に膵臓・胆道・肝臓の外科治療を中心に診療していますが、手術死亡
ゼロを合言葉に手術を行っています。また、難治療の代表である膵がん10年
生存例も2桁となり、さらに長期生存される患者さんが増えることを楽しみに
日々診療を継続してまいります。
手術死亡のない安全な治療、がん根治のための技術の研鑽、先進医療の
導入などを継続して、地域医療に貢献したいと考えておりますので、よろしく
お願い申し上げます。



Greetings



統括部長就任にあたって

秋穂 裕唯 | Hirotada Akiho

このたび統括部長を拝命いたしました。
2011年に当院に赴任し、消化器内科主任部長として消化管がん、炎症性
腸疾患、機能性消化管疾患を中心に診療してきました。
消化管がんの死亡率は減少し生存率も上昇していますが、いまだに進行が
んで紹介されてくる患者さんが多いのが現状です。
今後は消化器病の診療だけでなく、病院の運営を少しでもお手伝いさせて
いただきたいと存じます。
引き続き日々の研鑽に努め、質の高い医療を提供し、地域医療と医学の発
展に貢献していく所存でございます。
今後ともよろしくお願い申し上げます。



Greetings



退任のごあいさつ／前 診療支援部臨床検査技術課長

渡邊 英明 | Hideaki Watanabe

本年3月31日で臨床検査技術課長を退任しました渡邊です。2015年4月に臨床検査技術課長を拝命しました。この年より病院組織も一新され、以前の臨床検査科から診療支援部臨床検査技術課として新たなスタートとなりました。3年間、診療支援部の一課として、他課との連携を深めるとともに、さらに質の高い検査を提供できるよう日々取り組んでまいりました。

この間、先生方をはじめ看護課、診療支援部の方々、臨床検査技術課職員ならびに多くの職員の方々にご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後は、微力ではございますが、引き続き市立病院で検査技師として働く所存です。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

Greetings



総合診療科／主任部長就任にあたって

内田 勇二郎 | Yujiro Uchida

23年ぶりになります。この度、本年4月より総合診療科主任部長として赴任することになりました内田勇二郎と申します。

医療の分化により高度な治療が日々進歩している中、自分の症状でどの診療科に受診すべきか、また、複数疾患がある場合にどうすべきかなど、患者さんにとってわかりにくい医療にもなっています。そこで、受診される方々の状況に対応した基本的かつ全人的な医療を、各専門診療科と連携しながら提供していけるように努力していきます。同時に、感染症専門医としても担当させていただきます。当院は第2種感染症に対応できる感染症病棟を有した病院でもありますので、北九州およびその周辺地域の感染症治療の中枢としても貢献していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

New manager



退任のごあいさつ／前 副看護部長

小野 弘美 | Hiromi Ono

このたび本年3月末をもちまして無事に定年退職を迎えることができました。

私は、2014年4月より医療連携担当課長として着任し、3年間、医療連携室で勤務させていただきました。地域の医療機関の先生方や医療連携室・訪問看護ステーション等の連携関係者の皆様には大変お世話になりました。そして、2017年4月より看護部に異動し、1年間、副看護部長として勤めさせていただきました。医療センターでの4年間、楽しかったこと嬉しかったこと辛かったこと、一つひとつが良い思い出となっています。

少子超高齢化社会により人々の医療・介護ニーズは増大し、一層多様化・複雑化しています。医療提供体制は、病院完結型から地域完結型へと急速に転換が図られています。医療センターが、病院理念の基、今後さらに、患者さんに寄り添った病院として役割を担って行かれることを願っています。今まで、本当に多くのことを学ばせていただき、たくさんの方に出会い、支え助けていただき勤務できたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

Greetings



糖尿病内科／主任部長就任にあたって

足立 雅広 | Masahiro Adachi

このたび、本年4月より糖尿病内科主任部長として赴任いたしました足立雅広と申します。専門は、糖尿病、内分泌代謝、老年病です。

糖尿病の診療では、患者様の糖尿病の病態、合併症の状態をふまえて、患者さん一人ひとりに対して、テーラーメイドの治療を行うことを目標としております。最近の糖尿病診療は、地域医療連携が重要視されてきており、近隣の先生方のご協力をいただきながら、日々の診療を行なっていきます。内分泌代謝の診療においては、脳下垂体、副腎、甲状腺、性腺、骨代謝疾患、ホルモン異常による二次性高血圧症など幅広い分野で診療に取り組みます。

当院は、長年にわたり、北九州地区において、糖尿病診療の中心的役割を担っております。今まで糖尿病内科の医師やスタッフが築き上げた診療レベルを引き継ぎ、糖尿病、内分泌の診療で市民の皆さまのお役に立てるよう精進していく所存でありますので、よろしくお願いいたします。

New manager



臨床検査技術課長就任にあたって

横山 智一 | Tomokazu Yokoyama

本年4月より臨床検査技術課長を拝命いたしました横山です。市立医療センターへは前身の市立小倉病院立替時に入職し、市立八幡病院を経て現在に至ります。

当院の臨床検査技術課では現在38名の臨床検査技師によって、日々の診療業務に欠かせない検査データを提供しています。また、臨床検査技術課にはさまざまな分野の認定資格を持つ検査技師が多数在籍しています。地域がん診療拠点病院、総合周産期母子医療センターとしての市立医療センターにふさわしい検査技師として役割を果たせるよう日々努力しています。

これからも技師それぞれが知識を深め技術を磨き、地域医療に貢献していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

Greetings



皮膚科／主任部長就任にあたって

三田村 康貴 | Yasutaka Mitamura

このたび皮膚科主任部長を拝命いたしました三田村と申します。専門は皮膚科一般とアレルギーです。

長く主任部長を務めてこられた執行先生の後を引き継ぐこととなり、変わることなく質の高い医療を北九州市に提供していかなばと考えています。

最近では、さまざまな生物学的製剤が発売されるなど医療は目まぐるしく進歩しています。皮膚科領域では、以前より用いられてきた尋常性乾癬においてだけでなく、今後はアトピー性皮膚炎や蕁麻疹等の疾患においても使用が広がっていきます。従来の治療だけでなく、エビデンスに基づいてそのような最新の医療も取り入れながら地域に貢献していければと思います。

最善の医療を提供していけるよう、他科の先生方、院内スタッフの皆さまと連携を取り合いながら、心のこもった医療で市民の皆さまのお役に立てますよう努力していく所存でございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

New manager



Welcome to KMMC

2018年度 **新任医師紹介** KMMC期待の新任医師21名です。
皆さんよろしくお願ひします。

Question
【質問内容】 50音順

Q1.所属診療科
Q2.得意分野
Q3.自己PR

Profile 01 Akira Aso

A1. 消化器内科
A2. 消化器内科一般、超音波内視鏡を用いた消化管、胆膵領域の診断治療内視鏡
A3. 4月1日より赴任いたしました消化器内科の麻生と申します。高度な技術を持つ専門スタッフとともに、患者さんに安心安全な医療を提供できるよう尽力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

麻生 暁

Profile 05 Sho Okuda

A1. 外科
A2. 消化器内科一般
A3. 4月から赴任いたしました奥田と申します。フットワーク軽く、皆さまのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

奥田 翔

Profile 02 Hidenobu Arimura

A1. 呼吸器内科
A2. 呼吸器内科一般
A3. 初期研修から3次救急病院で勤務を行っていましたが、今回がん診療を主とした診療を行うに辺り、患者さんと十分に話し合い、納得のいく医療を受けていただけるように努力していきたいと考えております。

有村 豪修

Profile 08 Yuki Kawano

A1. 小児外科
A2. 小児外科一般
A3. できるだけ患者さんのためになるような診療を行います。

河野 雄紀

Profile 03 Takashi Ikenoue

A1. 泌尿器科
A2. 泌尿器科一般
A3. 一昨年、昨年は宮崎県、大分県で勤務し、久しぶりに福岡県内へ戻ってきました。よろしくお願いいたします。

池之上 俊

Profile 07 Kazutaka Kuramoto

A1. 産婦人科
A2. 不妊内分泌
A3. 私は不妊内分泌を専門としており、昨年度は浜の町病院で不妊症患者に対して、一般不妊治療から体外受精、腹腔鏡手術に携わっていました。北九州市立医療センターで腫瘍、周産期をしっかり学び、後輩指導も頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

蔵本 和孝

Profile 04 Teiyu Izumi

A1. 整形外科
A2. 脊椎・脊髄疾患
A3. 低侵襲脊椎外科手術に興味を持っています。経皮的内視鏡下脊椎手術(PED法)を用いて多くの患者さん方のお役に立ちたいと考えています。医者1年目以来の自転車通勤です。どうぞよろしくお願いいたします。

泉 貞有

Profile 09 Ryunosuke Kogo

A1. 耳鼻咽喉科
A2. 頭頸部外科
A3. 九州大学病院から赴任しました。耳鼻咽喉科領域の中でも頭頸部がんを専門としています。嚥下、発声、整容面に関わる病気で、外科的治療、放射線治療、化学療法を組み合わせた集学的治療で治癒を目指します。

古後 龍之介

Profile 06 Shingo Kozono

A1. 外科
A2. 消化器外科、内視鏡外科
A3. 平成15年より九州大学臨床腫瘍外科に所属し、この度市立医療センターに勤務させていただくこととなりました。直近4年間はハーバード大学医学部ベスイスラエル・ディーコネス医療センターにてがんの基礎研究に携わり、がん治療の知見を深めてまいりました。その経験を元にサイエンスおよびエビデンスに基づいた患者さんに満足いただけるがん治療の提供に努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

小園 真吾

Profile 10 Motoharu Gondo

A1. 心療内科
A2. 心身相関
A3. 心と体の状態は互いに影響しあう場合があります。思い通りにしようとしても、なかなかうまくいかないこともしばしばあります。どのようにつきあっていったらいいのか、患者さんと一緒に考えていけたらと思います。

権藤 元治

Profile 11 Yuma Sakamoto

A1. 整形外科
A2. 一般整形
A3. 4月より市立医療センターで勤務させていただくことになりました整形外科の坂本悠磨と申します。患者さんおよび地域医療に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

坂本 悠磨

Profile 12 Eiichi Sato

A1. 腫瘍内科
A2. 抗がん薬治療、症状緩和療法
A3. 1年半ぶりに腫瘍内科に赴任しました。抗がん薬と支持療法を積極的に行うことで、がんに対する不安や苦痛を少しでも取り除き、普段と変わらない生活を安心して過ごしていただけるよう研鑽してまいります。よろしくお願いいたします。

佐藤 栄一

Profile 13 Shinichiro Shimamatsu

A1. 呼吸器外科
A2. 肺がん、呼吸器外科
A3. 呼吸器外科の島松晋一郎です。九州がんセンターで約3年半、肺がんを中心に治療してきました。医療センターでも手術を中心に頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

島松 晋一郎

Profile 14 Kazutaka Takaiwa

A1. 耳鼻咽喉科
A2. 耳鼻学一般
A3. 岡山出身、宮崎大学卒、現在九州大学耳鼻咽喉頭頸部外科教室所属です。よろしくお願いいたします。

高岩 一貴

Profile 15 Masanori Takaki

A1. 放射線科
A2. 放射線治療
A3. 昨年放射線専門医を取得し、放射線治療に専従することとなりました。放射線治療医としての経験は浅いですが、患者さん一人ひとりに合わせた放射線治療計画の立案と、迅速な副作用への対応を心掛けてまいりたいと思います。

高木 正統

Profile 16 Keisei Tute

A1. 産婦人科
A2. 婦人科腫瘍(開腹手術)
A3. 平成30年4月1日付けで産婦人科に着任しました館慶生と申します。平成25年から3年間当院で勤務させていただきましたのち、東京の国立がん研究センター中央病院で2年間働き、この度戻ってまいりました。ガイドラインにのっとり標準治療を行うとともに、患者さんに寄り添った治療を心掛けております。

館 慶生

Profile 17 Yuko Tsuchiya

A1. 呼吸器内科
A2. 呼吸器内科一般、肺がん治療
A3. 4月から九州大学病院より赴任しました土屋と申します。9年ぶりの北九州市立医療センターでの勤務となります。皆様のお役に立てるよう力を尽くしてまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

土屋 裕子

Profile 18 Kensuke Nitta

A1. 外科
A2. 消化器外科一般
A3. 産業医科大学から来ました新田と申します。皆様のお役に立てるように頑張ります。

新田 拳助

Profile 19 Aya Hirata

A1. 放射線科
A2. 画像診断全般
A3. 皆様のお役に立てるようがんばります。よろしくお願いいたします。

平田 文

Profile 20 Sho Matsuyama

A1. 心臓血管外科
A2. 心臓血管外科一般
A3. 4月より赴任いたしました心臓血管外科の松山と申します。皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

松山 翔

Profile 21 Chika Mitamura

A1. 放射線科
A2. 放射線診断一般
A3. 適切な画像診断で皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

三田村 知佳

2017年度 活動報告

2/3^土 サンウルブズ慰問

サンウルブズ(Sunwolves)〔ラグビーの国際大会「スーパーラグビー」において、2016年より参加している日本チーム〕の5人の選手(堀江翔太選手、リーチマイケル選手、田中史朗選手、立川理道選手、山田章仁選手)が慰問&トークショー。



3/13^火 消防訓練

夜間、地震の発生により病棟において火災が発生したと想定した消防訓練を実施。別館5階病棟をメインに、患者さんを安全に誘導する手順を確認するとともに、小倉北消防署と連携して身体の不自由な患者さんを想定した、はしご車による避難訓練を実施しました。小倉北消防署の指示のもと、消火器訓練も実施しました。



2/2^金 なかよし保育園豆まき

院内保育所・なかよし保育所で、園児が楽しみ(?)にしている恒例の豆まきを実施しました。赤鬼・青鬼が登場すると泣き出す園児も。



TOPICS トピックス

3/20^火 退職者を送る集い

北九州市立医療センターの2017年度退職者を送る集いを開催。定年退職する7名の医師、医療技術職、看護師の退職を祝いました。



3/15^木 詩太さん絵本寄贈

書家・作詩家・文字アーティストの「言葉人 詩太(ことばごと うーた)」さんが院内保育所・なかよし保育所と小児病棟を訪れ、絵本を寄贈してくださいました。



院内ギャラリー展示

西口(駐車場側入り口)から本館への接続通路にある院内ギャラリーでは、通年(月替わり)で写真展等を開催しています。お立ち寄りの際はぜひご覧下さい。



看護の広場

別館4階病棟

わかりやすく説明する看護を目指して



別4病棟 看護師長 吉永 友香

別館4階病棟は、内科(血液内科、肝臓内科、膠原病内科)40床、心療内科9床、皮膚科3床の計52床の混合病棟で看護要員は34名です。看護職員は27名で、呼吸療養認定士・学会認定臨床輸血看護師・糖尿病療養指導士・DMAT・BLSなどさまざまな資格とラグビー観戦・マラソン・御朱印集め・ウサギ飼育など多彩な趣味をもっています。毎月の入院数は院内で一番多く急患率・看護必要度も高い病棟です。

また、子育て中の職員が多く急遽休みになることもありますがチームワーク良く働いています。

先程述べたように当病棟は混合病棟のため、入院される患者さんの疾患や症状・治療は多岐にわたります。患者さんご家族に安心して療養していただくには、科学的根拠に基づく医療・看護をわかりやすく説明し、同意を得た上で安全に実施することが不可欠です。このため、病態・症状・治療・看護が連動するように勉強会や医師との定期的なカンファレンスを行っています。

厚生労働省は、団塊の世代が75歳を迎える2025年を目処に地域包括ケアシステムの構築を目指しています。北九州市の高齢化率は全国第1位であり、疾病や認知症とともに生活する高齢者は年々増加しています。当病棟に入院される患者さんも同様です。治療後は早期に住み慣れた自宅または地域で生活できるように、退院支援カンファレンスを定期的に開催し、入院時から患者さんの社会背景や病状経過・退院後の生活を見据えた支援ができるように努めています。また、認知症看護認定看護師教育課程を終えて2月に当病棟に戻ってきた看護師を中心に、認知症高齢者の持てる力に着目した看護を目指しています。

新人教育や学生指導にも力を入れています。プリセプティとプリセプターは毎月面談を行い目標の達成状況や課題を明確にしています。また、日々の勤務中には新人が気兼ねなくタイムリーに相談できるように相談役の看護師を設定しサポートしています。2月に院内で行われた「看護の振り返り会」では新人看護師2人の成長を実感する発表を聞きスタッフ全員が嬉しく思いました。学生指導では、学生に関わった看護師が学生の実習状況を毎日紙面にまとめ臨床指導者に伝達し、充実した実習ができるように工夫しています。

この他にも多忙な中、褥瘡ケアや感染管理・医療安全・記録など各自の役割を責任もって行っています。看護師一人ひとりの看護実践力をさらに高め、患者さんご家族に安心安全な看護が提供できるように研鑽していきます。



大野先生とスタッフ



病棟医長の三木先生とスタッフ



2017年4月入職の新人看護師



元気一杯! 看護補助者



大久保内科胃腸科

INFORMATION

所在地：小倉北区高坊1丁目10番16号
T E L：093-931-1618
F A X：093-931-3008

院 長：大久保 明
診療科目：内科、胃腸科



院長
大久保 明



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	△	×
14:30~18:00	○	○	○	×	○	×	×

※休診日：日・祝日、第2・4土曜日



アピールポイント

消化器内視鏡専門医として食道がん・胃がん・大腸がんの早期発見に努めています。特に大腸内視鏡検査に関しましては、TV・トイレ付個室で十分くつろいだ状態で前処置を受けることができ、安全・安心かつ苦痛のない内視鏡検査が受けられるように心掛けています。

市立医療センターへの一言

食道がん・胃がん・大腸がんの治療におきましては、高度で最先端の内視鏡治療から腹腔鏡を用いた困難な外科的手術に至るまで、患者さんの負担軽減を十分に考慮した適切な治療をしていただき、患者さんの満足度も非常に高く、大変感謝しております。

土倉内科循環器クリニック

INFORMATION

所在地：小倉北区上到津2丁目3-38 院 長：土倉 潤一郎
T E L：093-571-3616 診療科目：内科、循環器内科
F A X：093-591-3617 漢方内科



院長
土倉 潤一郎



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	△	○	○	×
15:00~18:00	○	△	○	△	○	×	×

※土曜日は13時まで

※火曜日午後と木曜日は外科診療



アピールポイント

今年1月に父より継承し、「土倉外科胃腸科医院」から「土倉内科循環器クリニック」へリニューアルオープン致しました。私の専門は循環器内科・漢方内科・在宅医療です。在宅医療では、がん患者さんだけでなく、心不全患者の管理・お看取りにも力を入れております。

市立医療センターへの一言

特にがん患者の在宅医療での連携が多いかと思います。病院の外来通院中や入院を繰り返す場合でも、「少しでも長く自宅で過ごしたい」「最期は自宅で看取りたい」などのご希望がございましたら、どのような状況でも何かしらのご提案はできると思いますので、お気軽にお声をかけていただけると幸いです。

平素より、当院の地域医療連携につきましては、ご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。
今年度も、連携室一同、地域の医療機関の皆さまと顔の見える連携を心掛け、連携室業務に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

さて、昨年度まで「北九州市立医療センター研修会」として開催しておりました地域の医療従事者の皆さまへ向けた研修会を「地域医療従事者研修会」と名称変更し、開催したいと考えております。
下記に年間予定を掲載いたします。ぜひご参加ください。

事前の申し込みは不要です。

【場 所】北九州市立医療センター 別館6階 講堂

【時 間】18:30～(1時間～1時間30分程度)

※当院の有料駐車場(～3時間100円)をご利用いただけます。

【問合せ先】医療連携室 TEL:093-533-8660 FAX:093-533-8718

地域医療連携推進担当係長 佐藤 美登里

■2018年度北九州市立医療センター 地域医療従事者研修会プログラム

日程	テーマ(予定)	講師(予定)
2018年 4月26日(木)	急変の前兆を捉えるフィジカルアセスメント	集中ケア認定看護師 増居 洋介
5月24日(木)	乳がんの最新治療と看護	外科主任部長 阿南 敬生 乳がん看護認定看護師 安藤 育枝
6月28日(木)	長寿社会における口腔ケアの重要性	九州歯科大学歯学部口腔保健学科 地域・多職種連携教育ユニット 教授 藤井 航
7月26日(木)	がん患者の疼痛管理	PCTチーム 麻酔科部長 神代 正臣 がん性疼痛認定看護師 太郎良 純香
9月27日(木)	大腸がんの最新治療 ・大腸がんの外科治療 ・大腸内視鏡治療の進歩	外科部長 佐田 政史 消化器内科主任部長 水谷 孝弘
10月25日(木)	感染症のトピックスと感染対策	総合診療科主任部長 内田 勇二郎 感染管理認定看護師 田中 裕之
11月22日(木)	認知症トピックス ・術でなおる認知症 ・認知症患者の看護に役立つ ～パーソン・センタード・ケアについて～	脳神経外科部長 金田 章子 7南病棟看護師 草場 慶江
12月13日(木)	臨床で活用できる? 心理療法と不眠への対応 ・不眠症の治療について ・傷ついたところへの寄り添い方を考える	心療内科主任部長 福留 克行 臨床心理士 兵頭 憲二
2019年 1月24日(木)	肝臓がんの最新治療 ・肝臓がんの内科治療 ・肝臓がんの外科治療	内科主任部長 重松 宏尚 外科部長 阿部 祐治
2月28日(木)	糖尿病の最新治療と重症化予防について 高齢者糖尿病患者に対する自己注射支援の実践について	糖尿病内科主任部長 足立 雅広 糖尿病看護認定看護師 木村 久美
3月14日(木)	チームで取り組む褥瘡対策 ・褥瘡局所管理の実践 ・予防的スキンケアとチームでの褥瘡対策の実践	皮膚科主任部長 三田村 康貴 皮膚・排泄管理担当係長 辰島 美和 皮膚・排泄ケア認定看護師

地域かかりつけ医の先生方はもちろんですが、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、リハビリテーションスタッフ、訪問看護ステーション、介護施設等の医療従事者を対象とした研修会ですので、多数のご参加をお待ちしております。また上記以外にも認定看護師主催研修などを開催する予定です。日程が決まり次第ご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

【医療連携室】

TEL 093-533-8660(直通) FAX 093-533-8718 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/hospital/center/>

E-mail:byou-iryuu-renkei@city.kitakyushu.lg.jp ※患者さんのご紹介は、E-mailでは受付けておりません。